

よかまち武雄をつくる人々

武内町住みよいまちをつくる会



武内町住みよいまちをつくる会は、昭和63年6月に発足しました。発足の目的は、その当時武雄まで高速道路が開通し、市内は工業団地の誘致や活気のある梶音が響く中で武内町だけが静かな状態であったため、「武内町を何とかしよう」という町民の思いから発足しました。同会の中に各地区選出者、各種団体選出者、自主的参加者で組織する企画委員会（愛称：やってみよう会）を置き、月1回まちづくりのついで話合いを行っています。

これまで、武内神社周辺にふれあい公園の設置、まちづくり計画書「武内町コミュニティプラン」の策定、町のシンボルマークと町旗の作製や、松浦川河川敷に彼岸花の植栽、赤穂山広場への桜の木や武内神社の桜のてんぐす病の除去などの活動を行ってきました。毎年11月には町をあげて「ふれあい祭り」を開催しています。また、飛龍窯祭りへも参加しています。

武雄市には、自分たちのまちは自分たちの手で元気にしようと、様々な活動をされている団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな「武雄をよかまちにする」ために活動している団体を紹介します。

よかまち武雄をつくる人々のコーナーで紹介させていただく方々、団体のみなさまを募集しています。秘書広報課までご連絡ください！

ます。

特に、平成20年度は、町内のボランティア活動として年3回の町内美化活動を自治公民館単位で行いました。県下一斉の美化活動と、お盆、お正月前に実施し、帰省される方や町内を訪れる方におもてなしの気持ちをこめ、かつ住民の皆さんが気持ちよく過ごせるような活動となりました。また、ふれあい祭りは、住民の皆さんが何かに係わり合いを持てるような祭りになろうと各地区や各種団体から出店を出していただきました。また、初めての試みとして「チンドン」で町中を街宣し、会場では出店の宣伝まで行うパフォーマンスもあり、大変盛り上がりました。今後、町内の様々なボランティア活動を通じて、さらに住みよいまちづくりを推進していければと思います。

問 事務局

武内公民館

(27)2001

市民病院からのお知らせ

1月1日 回復期リハビリテーション病棟を開設しました



社会復帰、家庭復活を目的としたリハビリテーションを行う回復期リハビリテーション病棟を設けました。医師、看護師、理学療法士などのリハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどがチームで治療にあたり、日常生活動作の訓練を実施しています。

問 武雄市立武雄市民病院 ☎ (23)3111

人の動き



総人口 51,803人
男 24,522人
女 27,281人
世帯数 16,940世帯

武雄町 15,997人(-3)
橘町 2,782人(-79)
朝日町 5,746人(+46)
若木町 1,946人(-34)
武内町 2,699人(-15)

東川登町 2,571人(-57)
西川登町 2,201人(-15)
山内町 9,544人(-29)
北方町 8,317人(-109)

()は平成19年12月末日との増減



平成20年12月末日現在